

NT-8000_ml ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは以下の車種に対応します。
・西鉄8000形
本キットは、トレーラー車専用です。
動力ユニット付き車に使用すると、チラツキ対策を施していないため、前進時にテールライトが、後進時にヘッドライトが、チラチラと点灯してしまいます。

！ ご注意

- ・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【バックリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】

・ライトユニット	：	1個/セット
・ライト枠	：	2個/セット
・ライトカバー	：	2個/セット
・通過標識灯ユニット	：	1個/セット
・通過標識灯ユニット用スペーサー	：	1個/セット

【その他】

・説明書(本紙)	：	1枚
・導電性アルミテープ(15mm×約120mm)	：	3枚/箱

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】

・カッティングマット	・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)	・直定規
・ピンセット	・楊枝、綿棒など	・塗装面を保護する柔らかい布
・ニッパ	・ピンバイス(0.3mm、0.5mm、0.8mm、1.0mm)	・ポンチ(ブッシュピンなどでも可)
・プラスチックライバ	・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)	・サンドペーパー
・両面テープ	・ゴム系接着剤	・マスキングテープ
・木工ボンド	・プラモデル用接着剤	・瞬間接着剤
・ポリエスチルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビー」など)		・塗料(黒及び銀)

● 取り付け手順

1. 分解する				
1-1 床板を外す	1-2 側窓を外す	1-3 屋根を外す	1-4 ライトレンズを外す	1-5 前面窓を外す
				
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	側窓を外します。	連結面側から、両サイドのツメを押し、屋根を外します。	ライトレンズを外します。ライトレンズは使用しないので保管します。	前面窓を外します。中央下端の突起を楊枝などで押すと外れます。
2. 車体を加工する				
2-1 通過標識灯の穴を開ける		2-2 ライトの穴を加工する		
				
通過標識灯のモールドの中心に、ポンチで印をつけます。		まず0.3mmのピンバイスで穴を開けます。次いで0.5mmのピンバイスで穴を広げます。その後、カッターやヤスリなどを使って、穴を四角く広げて行きます。外側はモールドに沿って、内側はそれよりもやや広めに広げます。穴あけの傷や穴の内側は黒の塗料でタッチアップします。		
3. ライトユニットを取り付ける				
2-3 屋根板を加工する	2-4 側窓を加工する	2-5 スカートの加工	3-1 屋根の穴を塞ぐ	3-2 屋根をはめる
				
屋根先端のボディに引っ掛けるツメの下面を、ボディにはめた時に天井の下面と面一になるように、ヤスリで削ります。	側窓前端上部を、写真のようにカットします。	スカート中央のツメを切り取ります。	屋根の穴に、上側から付属のスペーサーをはめ、両面テープで固定します。スペーサーは穴の後端に接するように配置します。	屋根をはめます。
4. 配線する				
3-3 通過標識灯ユニットの取付	3-4 前面窓を取り付ける	3-5 ライトユニットを取り付ける	4-1 通過標識灯ユニットへ配線する	
				
通過標識灯ユニットを取り付け、両面テープで固定します。	前面窓を取り付けます。パチンと音がするまで、しっかり押し込みます。	ライト枠を銀で塗装し、切り付けます。(レンズ穴の中まで塗らないようにしてください。※) ライト枠をライトユニットに取り付けます。両面テープ片で、多少遊びがあるように固定します。ライトユニットの高サイド、斜めになっている部分に両面テープを貼り、ボディに取り付けます。	1.5mm×約30mmのアルミテープを用意し、通過標識灯ユニットの給電パッドから側窓下まで、Z字形に配線します。屈曲部は、欄外の記事を参考に折り曲げます。余ったテープは切り捨てます。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって導電性を悪化させます。	

※例えば、綿棒に少量の塗料を付け、メモ用紙などの上で馴染ませたのち、ライト枠を軽くたくように塗布すると、表面のみに塗れます。

<p>(4-1つづき)</p>  <p>通過標識灯ユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3mm×5mmのアルミテープを重ね貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。</p>	<p>4-2 側窓をはめる</p>  <p>側窓をはめます。両面テープで固定することを推奨します。</p>	<p>4-3 ライトユニットへ配線する</p>  <p>1.5mm×14mmのアルミテープを用意し、側窓下からライトユニットの給電パッドまで配線します。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。</p>	<p>ライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、4mm×3.5mmのアルミテープを重ね貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。</p>	<p>4-4 側窓下の凸部にアルミテープを貼る</p>  <p>床板との嵌合部の凸部に、5mm×5mmのアルミテープを貼ります。テープの先端が車体箱に接するように貼ります。</p>
<p>(4-4つづき)</p>  <p>車体の四隅の嵌合部に貼ります。</p>		<p>4-5 側窓下をアルミテープで結ぶ</p>  <p>室内灯も取付ける場合は、この作業は室内灯の取付後に行ないます。 3mm×106mmのアルミテープを使って、側窓下端に沿って、ライトユニットへの配線、前の嵌合部、室内灯の配線の4ヶ所を、一気に接続するように貼ります。 側面前端の窪みには貼らないようにします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。</p>		

●テープを折り曲げながら貼る



